



# **SnapCenter Plug-in for VMware**

## **vSphere アプライアンスを管理します。**

### **SnapCenter Plug-in for VMware vSphere**

NetApp  
September 29, 2025

# 目次

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereアプライアンスを管理します。	1
VMware vSphere Client Serviceを再起動します。	1
Linux vCenterでVMware vSphere Client Serviceを再起動する	1
メンテナンスコンソールへのアクセス	1
メンテナンスコンソールからSnapCenter Plug-in for VMware vSphereのパスワードを変更する	3
証明書の作成とインポート	4
vCenterからSnapCenter Plug-in for VMware vSphereの登録解除	4
SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを無効にして有効にする	5
SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの削除	6

# SnapCenter Plug-in for VMware vSphereアプライアンスを管理します。

## VMware vSphere Client Serviceを再起動します。

SnapCenter VMware vSphere Clientの動作が正しくない場合は、ブラウザキャッシュのクリアが必要になることがあります。問題が解決しない場合は、Webクライアントサービスを再起動します。

### Linux vCenterでVMware vSphere Client Serviceを再起動する

開始する前に

vCenter 7.0U1以降を実行している必要があります。

手順

1. SSHを使用してvCenter Server Applianceにrootとしてログインします。
2. 次のコマンドを使用して、アプライアンスシェルまたはbashシェルにアクセスします。

```
shell
```

3. 次のHTML5コマンドを使用してWeb Client Serviceを停止します。

```
service-control --stop vsphere-ui
```

4. 次のシェルコマンドを使用して、vCenterで古いHTML5 scvmパッケージをすべて削除します。

```
etc/vmware/vsphere-ui/vc-packages/vsphere-client-serenity/
```

```
rm -rf com.netapp.scv.client-<version_number>
```



VASAまたはvCenter 7.x以降のパッケージは削除しないでください。

5. 次のHTML5コマンドを使用してWebクライアントサービスを開始します。

```
service-control --start vsphere-ui
```

## メンテナンスコンソールへのアクセス

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのメンテナンスコンソールを使用して、アプリケーション、システム、およびネットワークの構成を管理できます。管理者パスワード、メンテナンスパスワードの変更、サポートバンドルの生成、リモート診断の開始を行うことができます。

開始する前に

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereサービスを停止して再起動する前に、すべてのスケジュールを一時

停止しておく必要があります。

#### タスクの内容

- SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 4.6P1では、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの初回インストール時にパスワードを指定する必要があります。リリース4.6以前からリリース4.6P1以降にアップグレードする場合は、以前のデフォルトパスワードが受け入れられます。
- リモート診断を有効にするときに「diag」ユーザのパスワードを設定する必要があります。

このコマンドを実行するための root ユーザ権限を取得するには、 sudo コマンド > を使用します。

#### 手順

1. VMware vSphere Clientで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが配置されているVMを選択します。
2. 仮想アプライアンスの\*タブで[リモートコンソールの起動]\*をクリックして、メンテナンスコンソールウィンドウを開きます。

インストール時に設定したデフォルトのメンテナンスコンソールのユーザ名とパスワードを使用してログインし maint ます。

```
Maintenance Console : "SnapCenter Plug-in for VMware vSphere"
Discovered interfaces: eth0 (ENABLED)

Main Menu:
-----
1 ) Application Configuration
2 ) System Configuration
3 ) Network Configuration
4 ) Support and Diagnostics

x ) Exit

Enter your choice: _
```

3. 次の処理を実行できます。

- オプション1：アプリケーション構成

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの概要を表示するSnapCenter Plug-in for VMware vSphereサービスの起動または停止SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのログインユーザ名またはパスワードの変更MySQLパスワードの変更MySQLパスワードのバックアップとリストア、MySQLバックアップの設定と一覧表示

- オプション 2：システム構成

仮想マシンの再起動仮想マシンのシャットダウン「maint」ユーザーパスワードの変更タイムゾーンの変更NTPサーバの変更SSHアクセスの有効化jailディスクサイズ（/jail）の増加アップグレードインストールVMware Tools MFAトークンの生成



MFAは常に有効になっており、MFAを無効にすることはできません。

- オプション 3：ネットワーク構成

IP アドレス設定の表示または変更ドメイン名検索設定の表示または変更静的ルートの表示または変更ホストへの Ping 変更のコミット

- オプション 4：サポートと診断

サポートバンドルの生成診断シェルの有効化リモート診断アクセスコアダンプバンドルの生成

## メンテナンスコンソールからSnapCenter Plug-in for VMware vSphereのパスワードを変更する

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理GUIの管理パスワードがわからない場合は、メンテナンスコンソールから新しいパスワードを設定できます。

開始する前に

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereサービスを停止して再起動する前に、すべてのスケジュールを一時停止しておく必要があります。

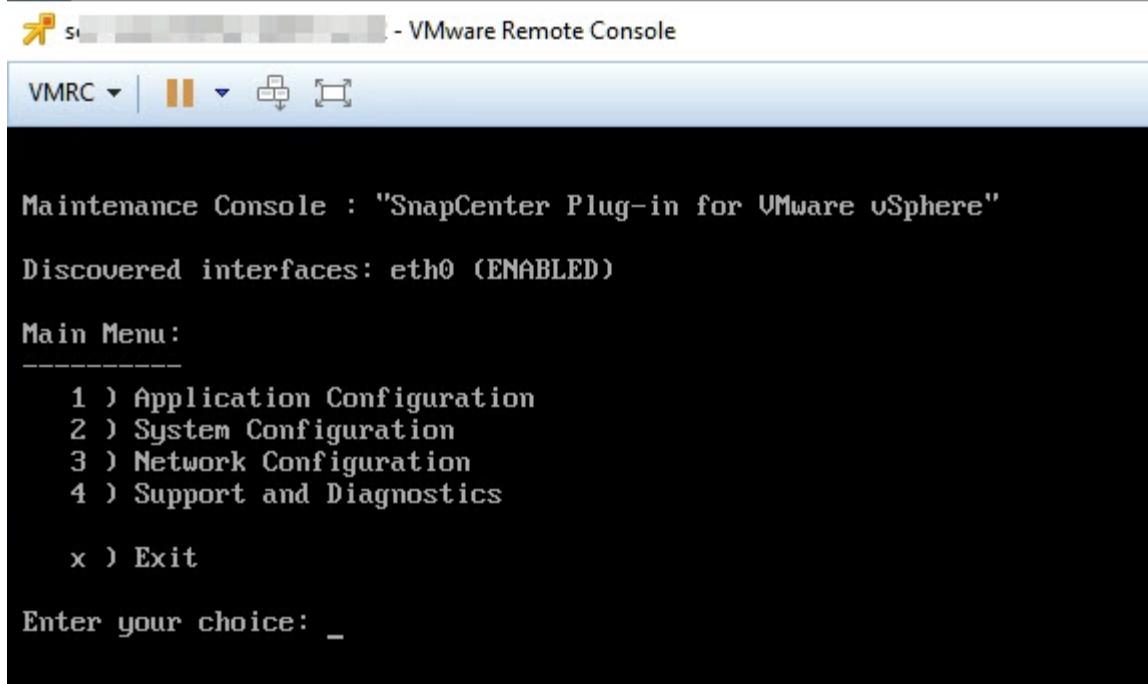
タスクの内容

メンテナンスコンソールへのアクセスとログオンの詳細については、を参照してください "Maintenance Consoleにアクセスします"。

手順

1. VMware vSphere Clientで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが配置されているVMを選択します。
2. 仮想アプライアンスの\*タブで[リモートコンソールの起動]\*をクリックしてメンテナンスコンソールウィンドウを開き、ログオンします。

メンテナンスコンソールへのアクセスとログオンの詳細については、を参照してください "Maintenance Consoleにアクセスします"。



3. アプリケーション設定に「\* 1 \*」と入力します。
4. [ユーザー名またはパスワードの変更]に「4」と入力します。
5. 新しいパスワードを入力します。

SnapCenter VMware仮想アプライアンスサービスが停止し、再起動されます。

## 証明書の作成とインポート

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereは、クライアントブラウザとのセキュアな通信にSSL暗号化を採用しています。この方法ではネットワーク全体でデータを暗号化できますが、新しい自己署名証明書を作成するか、独自の認証局（CA）インフラまたはサードパーティのCAを使用すると、証明書が環境に固有であることが保証されます。

詳細については、を参照してください ["技術情報アーティクル：「How to create or import an SSL certificate to SnapCenter Plug-in for VMware vSphere」](#)。

## vCenterからSnapCenter Plug-in for VMware vSphereの登録解除

リンクモードのvCenterでSnapCenter Plug-in for VMware vSphereサービスを停止すると、リンクされた他のvCenterでSnapCenter Plug-in for VMware vSphereサービスが実行されている場合でも、リンクされたすべてのvCenterでリソースグループを使用できなくなります。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere拡張機能の登録を手動で解除する必要があります。

手順

1. SnapCenter Plug-in for VMware vSphereサービスが停止しているリンクされたvCenterで、Managed Object Reference (MOB) マネージャに移動します。
2. [ プロパティ ] オプションで、[ 値 ] 列の [content] を選択し、次の画面で [ 値 ] 列の [ExtensionManager] を選択して、登録された内線番号のリストを表示します。
3. 拡張機能との登録を解除します com.netapp.scv.client com.netapp.aegis。

## SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを無効にして有効にする

SnapCenterのデータ保護機能が不要になった場合は、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの設定を変更する必要があります。たとえば、テスト環境にプラグインを導入した場合、その環境でSnapCenterの機能を無効にし、本番環境で有効にしなければならないことがあります。

開始する前に

- ・管理者権限が必要です。
- ・実行中のSnapCenterジョブがないことを確認します。

タスクの内容

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを無効にすると、すべてのリソースグループが中断され、プラグインがvCenterで拡張機能として登録解除されます。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを有効にすると、プラグインがvCenterで拡張機能として登録され、すべてのリソースグループが本番モードになり、すべてのスケジュールが有効になります。

手順

1. オプション：新しい仮想アプライアンスにリストアする場合に備えて、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere MySQLリポジトリをバックアップします。  
["SnapCenter Plug-in for VMware vSphere MySQLデータベースのバックアップ"](#)です。
2. の形式を使用して、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理GUIにログインし、`<https://<OVA-IP-address>:8080>` ます。導入時に設定したadminユーザ名とパスワード、およびメンテナンスコンソールを使用して生成されたMFAトークンを使用してログインします。

プラグインの導入時に、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのIPアドレスが表示されます。

3. 左側のナビゲーションペインで \* Configuration \* をクリックし、次に \* Plug-in Details \* セクションの Service オプションの選択を解除してプラグインを無効にします。
4. 選択内容を確認します。
  - VMと整合性のあるバックアップを実行するためにSnapCenter Plug-in for VMware vSphereのみを使用した場合  
　　プラグインは無効になっており、これ以上の操作は必要ありません。
  - SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用してアプリケーションと整合性のあるバックアップを実行した場合

プラグインが無効になっているため、さらにクリーンアップが必要です。

- i. VMware vSphereにログインします。
- ii. VMの電源をオフにします。
- iii. 左側のナビゲーション画面で、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのインスタンス（仮想アプライアンスの導入時に使用されたファイルの名前）を右クリックし .ova 、 \*[ディスクから削除]\*を選択します。
- iv. SnapCenterにログインし、vSphereホストを削除します。

## SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの削除

SnapCenterのデータ保護機能を使用する必要がなくなった場合は、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを無効にしてvCenterから登録を解除してから、vCenterからSnapCenter Plug-in for VMware vSphereを削除してから、残りのファイルを手動で削除する必要があります。

開始する前に

- ・管理者権限が必要です。
- ・実行中のSnapCenterジョブがないことを確認します。

手順

1. の形式を使用して、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理GUIにログインし `https://<OVA-IP-address>:8080` ます。  
プラグインの導入時に、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのIPアドレスが表示されます。
2. 左側のナビゲーションペインで \* Configuration \* をクリックし、次に \* Plug-in Details \* セクションの Service オプションの選択を解除してプラグインを無効にします。
3. VMware vSphereにログインします。
4. 左側のナビゲーション画面で、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのインスタンス（仮想アプライアンスの導入時に使用されたファイルの名前）を右クリックし .tar 、 \*[ディスクから削除]\*を選択します。
5. SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用して、アプリケーションと整合性のあるバックアップ用の他のSnapCenterプラグインをサポートしていた場合は、SnapCenterにログインしてvSphereホストを削除します。

終了後

仮想アプライアンスはまだ導入されていますが、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereは削除されています。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere用のホストVMを削除したあと、ローカルのvCenterキャッシュが更新されるまでプラグインがvCenterに表示されたままになることがあります。ただし、プラグインが削除されたため、そのホストでSnapCenter VMware vSphereの処理を実行できません。ローカルvCenterキャッシュを更新する場合は、最初にSnapCenter Plug-in for VMware vSphereの[設定]ページでアプライアンスが無効な状態になっていることを確認してから、vCenter Web Client Serviceを再起動します。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。